



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

<中同協 2013年新春（第3回）幹事会 参加報告>

副代表理事 金井政春

正月気分が覚めきれぬ中、1月11・12日新年の熱い思いに促され“初めて”中同協幹事会に参加してきました。中同協より鋤柄会長をはじめ16名、各県の代表理事、副代表理事、事務局長、44同友会134名の参加で開催されました。

会場は東京・中野サンプラザでした。

私は第2グループで1番前の真中のテーブルでした。グループ分けは同規模会員数を基準に別けられていて、中同協広浜幹事長、秋田、奈良、島根、山口の代表理事、福井、高知、宮崎の事務局長でした。

1日目は「情勢論議と同友会運動の展望」という大テーマで、情勢説明を駒澤大学 吉田敬一先生が話されました。

2013年の情勢については、再び自民党政権に変わり円安が進み、株価は1万円を超えて景気回復を思わせるが、多くの企業が海外生産に移行している環境において円安メリットはあまり期待できない。根拠無しの円安、株価高であり日本の力でなくグローバル、投機的なものと捕らえるべきとの事でした。

景気回復が危ぶまれる中、同友会会員企業は3つの目的、労使見解、経営指針づくりの取組をより深める必要があり、同友会が牽引役となり持続可能な地域経済社会づくりに貢献して欲しいとの

報告がありました。

続いて、「時代の期待にこたえられる同友会の役員と事務局の育成」というテーマで中同協広浜幹事長より問題提起がありました。その中で印象的だったのは、同友会運動の年々の拡大、レベルアップに伴い、従来の取組では厳しくなっていること。そこで求められるのは「ビジョン」「役員・事務局の質と量」「自主的・主体的活動」との事でした。又、役員と事務局がしっかりと論議し、合意形成をすることが大切で、活動の広がりが出てくると役員の自主的・主体的な活動が必要になってきますが、活動がブレないように体系的で継続的な役員研修会を開催していくことが重要との報告でした。

会社でもリーダーの資質により同じ様な環境、同じ様な条件で仕事をしていても成果、業績が違ってくる事が多くあります。急激に環境が変わっていく中においては、常にリーダーの資質の向上に努める必要性を強く感じました。

長崎同友会においても役員研修会等を積極的に開催し、役員の方の資質をより高め委員会活動の強化を図り、会員各位の役に立つ同友会を目指したいと思いました。

目次

中同協2013年新春（第3回）幹事会参加報告 … 1	新入会員紹介 …… 9
1月例会報告 …… 2	コラム …… 10
会員活躍 …… 8	3月例会案内 …… 11
	理事会報告 …… 12

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	1月29日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「人の喜び、我が喜び」
報 告 者	(株) ウィンプランツ 代表取締役 古里 久則 会員



今回は(株)ウィンプランツ代表取締役古里久則さんに報告していただきました。

古里さんは姫路の理美容専門学校を卒業後、理容店、美容店勤務を経て長崎に戻り美容店を開業します。その後店舗を増やしていきながら美容業界の革新を目的に新業態開発にも着手。みなさんご存知のジャスカットは、理容市場縮小の下、床屋の数が減少していく現状で男性客の受け皿として美容室と床屋の中間的な位置づけとして開発されたお店だそうです。また、現在もシニア層をターゲットとした店舗開発をされています。

今回の報告でユニークだなと感じた点は、2020年・100店舗・100人の経営者を目標に掲げ、別会社化、新会社の立ち上げ、暖簾分けと形態は様々ですが、これまでに7人の経営者を生み出している点です。美容業界という特異性(独立志向が高い)もあるのですが、採用面



接時にはもう「いつ独立したいのか？」と聞かれるそうです。なるほど、こういう経営目標も素晴らしいと新たな学びを得ることができました。

報告が始まると同時に、会場の雰囲気をもくさせる古里さんの



人柄。丁稚奉公時代、両手に深いひび割れを負い痛みに耐えながらも「おれは将来成功するために今頑張ってるんだ」と考えるプラス思考。ROIなどの経営指標を活用しながら投資判断をおこなったり、徹底したマーケットリサーチをした上で新規出店を判断されたりと、このように生まれ持ったパワーだけではなく、理論に基づいた経営手法を駆使して、ここまで歩んでこられたという報告を聞くことができ、今例会は非常に学びの多いものとなりました。

このたびは、大変貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。感謝申し上げます。

(文責 山崎 功)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	1月23日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「人を生かす経営をめざして、今は道なかば」 ～社員は売り上げの道具ではない。 社員を「活かす」から「生かす」へ～
報 告 者	ユニオンソフト(株) 代表取締役 濱田 利夫 会員

今回の例会報告は、濱田利夫さんです。濱田さんの会社「ユニオンソフト株式会社」はコンピューターソフトの開発会社です。

濱田さんは、同友会の理念の一つである「人間尊重の経営」にあこがれて、会社を起業されたそ

うです。

報告の趣旨は、

- ①起業されるまでのいきさつと同友会入会のきっかけ。
- ②大手メーカーの商品の販売権の獲得
- ③パソコン用業務ソフトの隙間を発見しそれに特化したソフト開発。
- ④販売先の確保(大手ソフト会社の販売網にのせてもらう)。
- ⑤売上を追う経営から、利益を増やす経営への転換。
- ⑥特定な大手企業に依存しない、新たな販路構築への取り組み。



- ⑦後継者にバトンタッチするまでの方向性。
- ⑧電子記録債権制度の中小企業の恩恵と必要性。
- ⑨愛知同友会の活動の手引きの「三位一体」の活動紹介

この話の中で、大半の社員の退職、経営の悪化、大手ソフト会社との立ち位置の相違による問題などをそれぞれ丁寧に解決され、現在は、新商品電子記録債権管理ソフト「電子債権の達人」の2月からの販売の準備に至っています。

このバックボーンには、明確な経営理念と経営方針がうかがえる内容でした。

さて、グループ討論のテーマは「同友会と会社経営をどうリンクさせてますか？」でした。発表の内容では、

- ・濱田さんの同友会活動と会社経営がリンクしている点に共感。
- ・色々な経営者との出会いが勉強になる。
- ・入会前は必要性を感じなかったが今は無くてはならないもの。
- ・毎日のモチベーションを保つことができる。
- ・経営指針を真剣に取り組むことが必要。
- ・例会で学んだことを実践する。
- ・後継者が決まったら同友会に入会させる。

など、自社と同友会活動をリンクさせる発言が目立ちました。

現在、濱田さんは「人間尊重の経営」の一つとして社員の福利厚生にも力を入れています。



濱田さんの報告内容もさることながら、出島地区会の例会参加者の意欲的な発言を聞くに、今後さらなる長崎同友会のレベルアップが予想できました。

同友会活動の充実を会員みんなで構築しようと意見がまとまりました。

参考までに濱田さんの口癖。

会社経営でミスをしない為に、同友会でたくさん恥をかく。他県並みの同友会レベルに達するための活動の改善・改革には、多少辛口の意見と行動も必要、誰もやらないなら自分がやる。

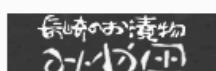
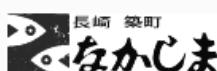
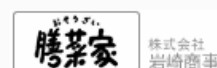
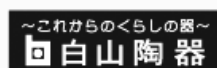
濱田さんの日頃の同友会活動の一部として長年にわたっての役員や県の経営指針づくり委員会への講師としてのかかわり、また、出島支部長を長年つとめての取り組みは、例会での会員による経営体験報告の定例化および全国大会レベルでの例会の運営です。3月には、北海道同友会で例会報告をされるということです。濱田さんにはこれからも、色んな形で同友会にかかわっていただきたいと思います。

最後に、本文を読まれている会員様に。長崎同友会をもっともっと良くするためにも、例会のみならず委員会活動を活性化し積極的に参加しましょう。

(文責 大崎悠史)

**ホームページのバナー広告を
募集しています！**

●お問い合わせ●
事務局まで
(月500円です)



大村支部 例会報告

日 時	1月18日(金) 午後6時30分
会 場	居酒屋 よっとこ
内 容	慶祝例会 ～昨年の振り返りと新年の抱負・ 今年もいい年にしよう～



今月の大村支部例会は、夕刻より例年に引き続き永富孝二さんが経営される「居酒屋よっとこ」にて慶祝例会として開催されました。

それに先立ち、早朝より富松神社にて、還暦のお祝いと厄入り・厄払いの厄除け祈願がおこなわれました。今回、還暦を迎えられた富永栄一郎さん、厄払いが山口佳彦さんと山本進さん、そして北村貴寿さんが厄入りされました。当日は支部長宮田さんをはじめ数名の方にご参列いただき、無事お払いをしていただけてまいりました。富永さんには益々ご健勝いただき、厄入りの北村さんには、この一年大事無く健康に気を付け、来年無事に払いができますようお祈り致します。厄払いの山口さんと山本さんには後厄がありますので、この一年を無事に過ごしていただきたくお祈り申し上げます。



そして夜の慶祝例会では、一通りの例式の後今年一年の更なる発展を願うべく盛大に宴が催されました。そしてこれも恒例になります昨年の反省から今年の抱負や目標などの発表を交えながら、楽しいお酒が酌み交わされておりました。

最後は大塚さんの一本締めで締めくくっていただき、この一年が皆様にとって素晴らしいスタートが切れたのではないかと思います。

(文責 小濱新二)

島原支部 例会報告

日 時	1月17日(木) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	『長崎経済の現状』 ～活性化への取り組み～
報 告 者	(株)長崎経済研究所 取締役調査研究部長 中村 政博 氏

今回の例会は(株)長崎経済研究所の中村政博さんにご報告いただきました。

(株)長崎経済研究所は十八銀行のグループ会社で、長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民生活のお役立ち情報をご提供されています。

長崎の経済の特徴：経済規模は全国の約1%、九州の約一割でGDPは4.3兆円。主な移輸出産業は造船・電気機械、観光、水産、農業など。製造業は造船、一般・電気機械、電子部品が主力で、特に造船は全国屈指の規模・集積となりま



す。年間観光客は2800万人、観光消費額は2700億円。水産業の全国シェアは6%強で、全国第2位の規模となります。サービス業などの第3次産業が全国に比べて高い産業構造です。

産業別でみると全国では横ばいの製造業が、造船・電気・機械など一部の業態で高い伸びを記録している。

現在約140万人の人口は減少傾向にあり、

2040年には100万人割れをする見通しとなっています。

その要因として雇用の減少に伴う社会的流出があり、このまま推移すると少子高齢化が進み個人消費者が縮小、県内需要の衰退に繋がると危惧されています。

そしてこれらの問題を打開すべく民間7団体による横断的な経済活性化に向けた【長崎サミットプロジェクト】が発足されました。「みんなでつくろう元気な長崎」のスローガンのもとで、地域の経済状況を捉え、将来展望を確認し、危機感を共有して施策を実施するという活動です。

そのなかで関係団体・関係者の連携強化（組織運営、P D C A）、応援団・仕掛け活動の拡大（事務局の設置・会員制導入）、個別課題対策の具体化（新幹線西九州ルートへの認可・着工支援、客船建造態勢支援・長崎かんぽこ王国設立）という実績が生まれたそうです。



現在県内ではインフラ整備や都市再開発、再生可能エネルギーへの取り組みなどが進められていますが、私達一人ひとりも意識を高めて経済活性化に向けて尽力するべきだと再認識できた報告でした。

（文責 川上貴弘）

諫早支部 例会報告

日 時	1月25日(金) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	『中小企業振興基本条例』は本当に必要なのか？
報 告 者	(株) 富建 代表取締役副社長 富永 栄一郎 会員 (株) ミヤタ 専務取締役 宮田 正一 会員



今月は報告者の大村支部政策委員長である富永栄一郎さんと大村支部長の宮田さんがテーマである『中小企業振興基本条例』という硬いイメージをより分かりやすく説明する為に、これまで何度か報告した経験を生かしパネルディスカッション形式を取り入れ行なわれました。

大村市中小企業振興基本条例の制定に向けてこれまで大村支部がどのようなプロセスで何を目的に活動しているのか、我々中小零細企業がどのようなメリットを享受できるのかそして現状の問題

点等を分かり易く報告していただいたので、報告を聞いた会員も「分かり易かった」という声が多く寄せられました。



グループディスカッションでは『条例は諫早に必要なか？』とのテーマで活発に議論され様々な意見が出ていました。

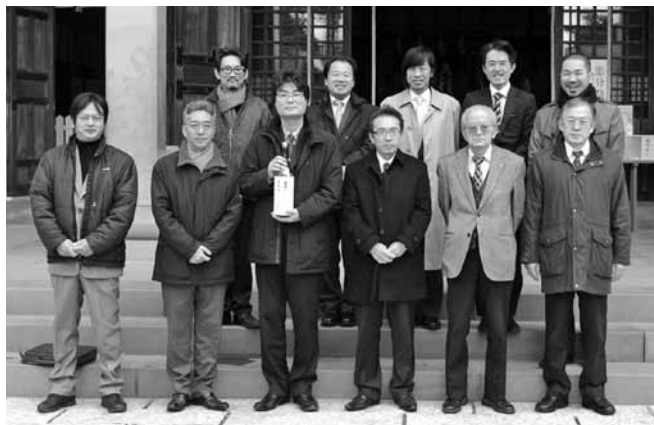
五島市より参加いただいたオブザーバーから「五島にも是非作ってほしい」と切実に願う声もあり、『中小企業振興基本条例』をより身近に感じる事が出来る例会でした。

今回の例会では新入会員承認式が行われ、更に嬉しい事にオブザーバー1人より入会申込書の提出がありました。徐々にですが目標60名に向けて会員数も増えて来ています。また五島支部設立にも触れ、より機運も高まってきている様です。

（文責 村山和幸）

佐世保支部 例会報告

日 時	1月19日(土) 午後7時
会 場	魚魚の宿
内 容	慶祝例会



新年あけましておめでとうございます。

平成25年最初の例会は毎年恒例の慶祝例会で始まりました。今年の慶祝の該当者は古希が古賀良一さんで還暦が松尾慶一さん・原耕三さん・平田真由美さんで厄入りが竹永正之さんの合計6名の方々です。

午前の部は例年通りに八幡神社へ参拝に行き、御祈禱をしていただきました。その時の宮司さんのお話の中で何でも悪いことが起これば(自分の不注意でも)厄のせいにしてしまいがちですがネガティブにならずに健康には留意してお過ごくださいと言われていましたのでその通りだと思いました。

午後の部は魚魚の宿(小松屋さんの宿)で開催されました。

まずは、川下さんの佐世保支部100名を達成させましょうとの思いを強く訴えられました。佐世保支部会員も日頃から100名達成のために頑張っていますので今期中に100名を達成できるものと思います。

続いて、松尾代表の挨拶では長崎県全体で500名を達成させて来期は600名を達成させましょうと熱い思いの年頭の挨拶と乾杯の音頭で宴会が開始されました。



本日の料理は、船津大輔さん直々に腕を振っていただき、すばらしく豪華な内容でした。その中でも特に船津さん自身にお鮓を目の前で握っていただき皆さん大変喜んでおいしくいただかれていました。

そして、「はっさく」による懐かしいフォークソングを聴き「開田隊」の楽しい踊りで大変盛り上がりました。

その後、会員による今年の豊富を壇上にて述べていただき、その中でも家族と自身の健康に関することが特に多かったです。

中には結婚宣言をされた会員がおられたので皆で祝福いたしました。

未だ経営環境は厳しいですが皆さん今夜は楽しく過ごすことが出来たので、今年も一年明るく楽しく頑張っていけるとと思います。

(文責 中島禎雄)

酒の専門
九州一の販売システム
酒の一斗 吉井店 TEL 0956-64-4747
佐世保市吉井町立石272-1

高齢者介護ホーム

茶話の里
入居者募集中
TEL・FAX 0956-64-2424
佐世保市吉井町田原73-6

池野会員(北松浦支部)

ひと月2,000円で

甦命茶
ふあんめいちゃ

動画をご覧ください
みやび園 検索

0120-50-1388
株式会社 みやび園 長崎市京泊1丁目1-42

健康に自信!
発売から30年
売れ続ける理由があります。

花粉症の方 お試し下さい!

太田会員(長崎支部 出島地区会)

北松浦支部 例会報告

日 時	1月24日(木) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	「金融機関から見た地域への提案」
報 告 者	(株)親和銀行 佐々支店支店長 豊増 信作 氏



今月の例会はサンパーク吉井において親和銀行佐々支店、支店長の豊増信作さんにご報告をいただきました。

報告テーマは「金融機関から見た地域への提案」といたしまして、前段に共育委員長の堤さんより報告

者紹介があり、佐世保市のご出身ということで参加者一同、一層親しみが湧きました。レジュメの表紙にも自分から見ての県北地域のナイススポットを自身の撮影された写真を使用してご紹介いただき、常に各地を回られていて研究熱心な方という印象を受けました。

報告の中では、地域毎の基礎データを一枚のシートに纏めたものを説明していただき、非常に解り易い資料で、参加者からは面積や人口密度など自分の地域の内容をそれぞれ見比べ、「なるほど」と納得いたしました。

発展しやすい地域としにくい地域の差が明確に



なり、後半の自然や産業、名産品イベントなどの項目を埋めていくと、自分の地域の強みや弱みが解ってくるようになっております、また地域の豊かさとして、金、健康、愛というふうに分けて地域を見直してゆくと、なお一層目標設定などができやすくなって非常に良くできておりました。

その後昨年からの政権交代に伴う経済情勢や、国会解散後の株価の変動、安倍政権が打ち出した2%インフレ目標とその後の情勢予想など、現在の経済界の成り行きを解り易く説明していただきました。

そして基本は地域の為になる企業づくり、自分が商売することによって地域が発展するような事を考えて商売をする、住み易い、住みたくなるような街づくりを考えていきましょう、その為には「儲かる会社をつくること」これが一番の地域貢献になりますという事でした。

今月は地元銀行の支店長の報告と言う事で、オプザーバーの方も沢山見えられて、会員拡大にもつながる充実した例会でした。

(文責 山口庄重)

青年経営者会 例会報告

日 時	1月22日(火) 午後7時
会 場	プライムステージ
テ ー マ	「私の履歴書」
報 告 者	中央自動車整備 西村 繁彦 会員(長崎支部 浦上地区会)



1月例会は今年度まで青経会長を務められている西村さんに報告いただきました。

家業の自動車整備工場に入社する前のお話から始まり、継ぐつもりはなかったが大型自動車を運転したいがため、バイト感覚で入社し夜の仕事もしながらなんとなく実家を手伝っているという感覚からある事件(メーカーでさえ修理できないと言われた車を父親が直してしまったのを見た時の感動)をきっかけに真剣に仕事に取り組むようになりました。そして、次第に自分の会社を良くしたいという思いが湧き、整備士の資格を取られたり電気関係の外注費が多いことに気づき電気の勉強をして自分で作業をすることで、経費の削減を行ったそうです。また、会社の改善をするうちに

【4つの課題】

①工場・事務所・代車などが汚い。

- ②接客や挨拶が良く出来ていない。
- ③工場内の整理整頓が出来ていない。
- ④お客様に対する対応や態度が悪い。

を見つけ改善に取り組めますが、なかなか社員の方や社長に理解してもらえず自分だけが掃除などをする日々が続きました。お客様からのお褒めの声で社長にも少しずつ理解され変わりつつあったなか、自分と社員との仕事の仕上がりに違いができ、お客様からのクレームが発生しその解決のため社員が行った仕事のチェックをしなければならなくなり、課題改善を行う時間が作れなくなってしまっているが、また少しずつでも前進していきたいと話されていました。西村さんの心の中の思いをぶつけるようなお話に参加された方達は皆聞き入っておられました。

報告後のグループディスカッションではテーマの「あなたの会社に欠点がありますか？もしあればそれをどのように改善しようとしていますか？」については、同族経営なので家族間での意思決定などが難しいや、社員に対してのコミュニ



ケーションや教育に対しての悩みなど幅広い問題点が出され、それについての改善策を皆で考えられていました。今回は来月例会に参加させていただく大村支部より支部長の宮田さんはじめ報告者の北村さん、そして出口さんの三名の方がお越し下さり例会の案内をして下さいました。多くのオブザーバーの方にも参加していただきとても活気のある例会が出来たのではないかと思います。

(文責 山口善也)

第二分科会に参加して

ロイヤルクリーナー
（株）リファイン大分
代表取締役
宮迫賢太郎

テーマ「四十年間の戦力として」
くだれもが働く喜びを感じられる、
共に育ちあう社風づくり
報告者 (有)エス・ケイ・フーズ
取締役 中村こずえ氏



中村氏は報告の最中も
余裕でピース!

中村氏は、マクドナルドをフランチャイズで長崎市内に十三店舗経営されていて、内九店舗で障がい者雇用をされている方です。

中村氏が障がい者雇用を始めたきっかけは、長崎市内のマクドナルドを全てフランチャイズでやらないか？とマクドナルド本社からお声がかかり、それを承諾しました。当然、そこで働いているかたがたもそのまま雇用するということでした。そのなかに、知的障害をもつ男性がいたのです。中村氏は、彼の可能性にびつくりすると同時に今後は障がい者雇用を推進するのが私の使命！と感じたようです。

中村氏は言います。「障がい者は少し時間がかかるけど、覚えたらきちんと仕事をしてくれますし、長期にわたって戦力になってくれます。」まさにその通りだと私も思います。今後障がい者雇用がもっと世の中に広がってほしいものです。



会員活躍

長崎支部 出島地区会 中村こずえさんが、大分同友会の経営フォーラムで報告されました!!

(「同友おおい」2012.12.1 No.154)

新入会員・交代の皆さんです

(敬称略)

< 1 月入会 >

支 部 名	長崎（浦上地区会）	
氏 名	たけした じゅんこ 竹下 順子	
企 業 名	和風すなっく すみれ	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒852-8154 長崎市住吉町11-15 1F	
T E L	095-842-1919	
業 種	飲食業	
企 業 P R	明るい照明で家庭的な社交場です。美味しい料理とお酒をお楽しみください。	
スポンサー	辻村 栄蔵	

支 部 名	長崎（出島地区会）			
氏 名	おおくし あきよし 大串 昭嘉			
企 業 名	(株) アクタス			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒852-8141 長崎市畦別当町363番地			
T E L	095-848-9922	F A X	095-801-4334	
業 種	自動車販売、整備、タイヤ、損害保険			
企 業 P R	会社名での由来でもある「action」、つまり行動するという行動理念で、お客様に積極的にアプローチする顧客目線の会社です。			
スポンサー	飯田 義則			

< 交 代 >

支 部 名	諫 早		
氏 名	はらぐち こうじ 原口 浩二		
企 業 名	原口浩二税理士事務所		
役 職 名	所 長		
企 業 住 所	〒854-0006 諫早市天満町19-14 リバーサイドマンションⅠ 802号		
T E L	0957-42-4565	F A X	0957-42-4565
業 種	税理士業		
企 業 P R	相続税・マイホームの税金・土地譲渡の税金・土地の有効活用・アパートマンションオーナーの税金問題・同族会社の税金問題はお任せください。		
スポンサー	村山 和幸		

支 部 名	長崎（出島地区会）			
氏 名	うらかわ きみよ 浦川 公巳好			
企 業 名	(有) こじま			
役 職 名	取締役			
企 業 住 所	〒851-0134 長崎市田中町279-1			
T E L	095-833-0088	F A X	095-833-0888	
業 種	角煮製造・卸・小売業・飲食業			
企 業 P R	豚の皮付 3 枚肉を仕入れ、入念に処理し割烹料理店の職人が積み足した秘伝のたれでじっくり煮込み厳しい検査を受けた角煮を、一品一品お客様の所までお届けします。			
スポンサー	井口 達宣			

徳勝・わたらい法律事務所

受付 平日 午前9時～午後6時

☎ 22-5622 (0956)

〒857-0871 佐世保市本島町2番5号 興徳ビル佐世保2階

即日相談可能！
土日の相談可能！
まずは、お電話下さい。

弁護士 徳勝 仁 弁護士 渡会祐三 交通事故、貸金、相続、離婚、そのほか民事事件、会社顧問、事業再建、その他の
弁護士 丸山 優 弁護士 山下将志 企業法務・企業事件、退社請求、任意整理、個人再生、自己破産などの多量債務
弁護士 本田裕一 弁護士 脇山正幹 問題、そのほか民事・刑事全般を扱う総合法律事務所です。お気軽にご相談下さい。
弁護士 馬渡圭一 (長崎県弁護士会所属)

徳勝会員（佐世保支部）

広告募集

< 4 cm × 9 cm >

複数月 割 引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000



「自社のホームページは間違っていないですか」 佐世保支部 STSOL 永末 勝宏

10年ほど前から企業におけるWebサイトの役割が変わってきた事をご存知でしょうか？ユーザの意識の変化が原因なのですが、ユーザはインターネット上に存在する情報を『ただ見る』状態から、『目的に応じて使いこなす』ように変わりました。もともとインターネットに接続するということは、ユーザ側から費用と労力を負担することになります。例えば、時刻表を知るために鉄道会社のWebサイトを訪れる、値段を調べるためにショップのWebサイトを訪れる、就職活動をするために企業のWebサイトを訪れるなど、Webサイトに訪れる人が、自ら抱える問題を解決するために様々なWebサイトにアクセスするようになりました。検索エンジン（YahooやGoogle）なども拍車をかけ、インターネット全体がユーザにとっての巨大な辞書、つまり『問題解決のツール』になっていきました。

企業側からすると、Webサイトはビジネス上の重要なチャンネルとして戦略的に位置づけられ、いかにしてユーザとのリレーションを築くのか課題になります。Webサイトを通してユーザの抱える問題を解決することで、さらにユーザが抱える別の問題（潜在的な問題）が解決されます。こういった『ユーザと企業との循環を生み出すこと』がWebサイトの機能そのものです。

企業にとってユーザとの接点といえば「店舗」「営業マン」「広告」「コールセンター」など実に様々です。多くの企業は、自分が出したい情報やしたい事を企業側の都合でWebサイト上に展開させ、ユーザにとって「機能しないWebサイト」「戦略のないWebサイト」をつくってしまいがちです。「インターネットは詳しくないから」といっておよび腰になる経営層も少なくありません。建築士の免許がなくても店舗運営戦略が立てられるように、Webサイトやインターネットだけを特別なものとして扱うこと自体がおかしいのです。

企業にとってのWebサイトは、「建築物」「紙面」と同様、単なる「器」に過ぎません。Webサイト戦略とは、本質的に「営業」「顧客サポート」「（社内外の）システムインフラ」などといった複数の重要な戦略にまたがるものです。そのため、全社合意

の意思決定にもとづく戦略策定と、全社規模で戦略を実行するための実施計画が重要になります。

では、企業Webサイトに求められるものとは、Webサイトで大幅な実績が見込める業種はいいとして（成功事例はたくさんあるからです）、見込めない業種では、Webサイトを持つこと自体意味があいまいで、戦略がありませんでした。過去の傾向としても、エンターテインメント系などコンテンツの面白さやWebサイトの世界では目新しい技術を使ったコンテンツの話題性に重きを置く企業が多くありました。ところが2008年ごろから消費者からの厳しい視線に対し、企業の責任を果たす自社のメディアとして期待され始めました。

- ・他のメディアより早く鮮度の高い情報提供
- ・品質管理などに関する取り組みの表明
- ・商品・成分に関する詳細情報の開示
- ・お客様の対応窓口

「企業が出したい情報を出すWebサイト」から、「必要な情報を必要な人へ、その人のわかる言葉で提供するWebサイト」へ企業Webサイトの在り方だと思えます。

「必要な情報を必要な人へ」つまりこれはユーザの捉え方も、「単にWebサイトを訪問してくれる人」ではなく、次のように区分して考えるべきです。

- ・自らの企業にはどのようなユーザがいるか
- ・それらのユーザはどのような問題を抱えているか
- ・抱えている問題をどのように解決できるか
- ・解決方法のうち、Webサイト出来ること・出来ないことは何か

これらを整理することがWebサイト戦略立案になります。アクセス数やページビュー、検索結果の順位向上だけの数字で一喜一憂してはいけません。必要なのは、それらの数字がビジネスとしてどのような意味を持つかを知り、ビジネスとしての状態を把握することでしょう。

さらに詳しく書き出すと、一冊の本が出来上がってしまうので、このあたりで話は終わりです。つたない文章でしたが、読んでいただいてありがとうございました。

折込サービス開始！

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

理事会報告

2013年2月理事会 議事録 抜粋

1月30日(木) つくば倶楽部

開会挨拶ー松尾代表理事

陶磁器の「表札」作りに特化して、顧客のどんな要望にも対応されている企業があります。
経営のひとつの手法ではありますが、いかなる厳しい経済環境の中でもオンリーワンで市場を開拓すればこれほどの強みはないと思いましたが紹介させて頂きました。

仲間づくりについて

- 1) 入会7名、交代と同時に復会1名を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

報告・連絡事項

- 1) 1月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について
- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)
 - ー尾崎例会委員長
 - ・「例会企画書」の提出期限厳守にご協力願います。
 - ・提出先は、私と情報広報委員会と同友会事務局の3先です。お間違いなき様願います。
 - ・今期は、基本である「会員による経営体験報告」を中心にして頂いたことをありがたく思います。
 - ・県例会委員会は、あくまで支部例会の支援を行う立場であると思っていますが、方向性を同じくすべき部分はご協力頂きたいと思っています。
 - ・来期は、さらなる充実化のために、県例会委員会に例会委員長だけでなく、支部役員の方にも多く参加して頂きたいと思っています。よろしくお願いします。
- 3) 五島支部設立 進捗状況報告ー松田支部設置委員長
 - ・1月7日(月) 五島市商工会議所青年部役員会にて和田会員(諫早支部)が同友会の説明を行いました。
 - ・1月、2月は招待例会月間としています。諫早支部例会に(有)五島観光タクシー 辻 千穂子氏に参加頂きました。条例に関する例会内容も非常に関心を高く持って頂き良かったと思います。
 - ・3月に「同友会を知る会」を開催します。商工会議所(会員700名)の広報誌に案内チラシを同封してもらう予定です。グループ長、発表者等の応援も含め、ぜひ、多くの方に参加して盛り上げて頂きたいと思っています。
- 4) 中同協関係の件
 - ①主要行事の紹介と参加促進
 - ②中同協 幹事会(1月11・12日) 参加報告ー松尾代表理事、金井副代表理事、山田事務局長
- 5) 会費滞納者に関してー吉田財務委員長
3ヶ月以上の滞納者はなし。
- 6) その他
 - ①松尾代表理事より長崎県産業デザインネットワーク交流会(2月19日(火))の情報提供あり。
 - ②V・ファーレン長崎から「キックオフパーティー」(2月18日(月))の案内があり、金井副代表理事が出席されます。
 - ③中同協 DoyuNews 「共に育つ」に土井共育委員長が登場されます。(2月13日(水)配信予定)

協議・承認事項

- 1) 来期に向けてー松尾代表理事
 - ①組織構成・人事体制
情報広報委員長ー多田 長三郎会員(長崎支部 浦上地区会)ー承認
 - ②役員研修会・来期活動計画検討会 内容変更について(2月2日(土))ー承認
来期の活動をよりよきものとするために、『下記3項目について、問題提起(15分程度)を受けてのグループディスカッションと発表』。(各項目1時間)

- (1) 役員としての心構えー報告 松田相談役
- (2) 例会づくりー報告 尾崎例会委員長
- (3) 仲間づくりー報告 山領仲間づくり委員長(内定)
※委員会別ではなく、全参加者によるグループ割を行います。

③定時総会について(4月20日(土))

- 今回提案内容ー承認
 - (1) 会場ーホテルニュー長崎(JR長崎駅隣)
 - (2) 会費ー2,000円
 - (3) タイムスケジュール
15時開会
16時〜記念講演
17時30分〜懇親交流会
 - (4) 動員目標ー200名
(長崎90、大村22、諫早23、島原15、佐世保38、北松浦12)
 - (5) 交通費補助(一人当たり)
500円(大村・諫早)
1,000円(島原・佐世保・北松浦)
 - (6) 役割分担の決定(受付・司会・議長等の選任)
「三役一任」

2) 来期予算についてー吉田財務委員長

- ①理事交通費(理事会・三役会、支給は年度末)の改正提案ー承認
- ②「期首500名・組織強化基金200万円取崩し」による予算案(大枠)ー承認

3) ビジョン案についてー松尾代表理事ー継続審議

ビジョン委員会より、今期の検討の結果として「第4次(5年後)ビジョン案」を提出して頂きました。
これをたたき台として検討を続けて行きたいと思いたいますので、委員長各位をはじめ多くの方に意見を出して頂く様お願いします。

4) 創立40周年記念植樹開催についてー岩崎実行委員長

植樹の費用補助として「特別活動費(20万円)の申請」ありー承認

今回、10年前と同じ場所(南島原市深江町 さくらパーク)で3月9日(土)に開催します。
奮ってのご参加よろしくお願い致します。

閉会挨拶ー金井副代表理事

本日は予算やビジョン等重要な議案を活発に議論頂いたことは良かったと思います。全研への54名もの参加は長崎同友会の進化を感じます。来期に向けて各支部の活発な活動に期待します。

会 員 数(1月30日現在)

	目 標	期 首	現 在
長 崎	229	182	185
(浦上)	109	91	97
(出島)	120	91	88
大 村	55	46	47
諫 早	60	45	52
島 原	40	30	33
佐 世 保	100	69	80
北 松 浦	40	29	29
合 計	524	401	426